



農業知識広場

農へのこだわり

〜知っててよかつた〜

伊藤文弘 指導員



土壌分析は人間の健康診断と同じようなものなので、定期的に行ってみてください。

『リン酸と亜リン酸について』

圃場の栄養成分の蓄積度合いを調べる土壌分析を実施されたことはありますか？ 長年作物を作り続けてきた圃場は、肥料の蓄積具合に偏りが生じ、結果的に肥料の欠乏や過剰状態に陥っていることがあります。特にリン酸成分は土に残りやすく、土壌分析をしたら、『過剰状態』という結果が返ってきた方も多いのではないのでしょうか。

リン酸は多くの植物が必須とする栄養成分ですが、主に果実等を収穫する作物が多く必要としており、葉物野菜などはあまり多く吸収しないので土中にたまってしまふのです。過剰に蓄積すると、アブラナ科野菜の天敵病害である「根こぶ病」が発生しやすいといわれており、あえてリン酸の入った肥料を使用せずに栽培される場合も多くあります。キャベツやハクサイなどの葉物野菜を栽培する場合には、根こぶ病対策とし



▲アブラナ科の根こぶ病

てリン酸成分の少ない肥料を使って栽培することもできますが、トマトやナス、タマネギといった野菜を栽培する場合、リン酸成分がしっかりと作用したほうが、質の良い野菜を栽培することができます。このリン酸をしっかりと吸収させるために「亜リン酸」を施用するとよいでしょう。

通常リン酸は、土に固着している状態のものを植物の根から出る物質により土からはがし、植物が吸収します。しかし、固着してしまったリン酸をはがすのには時間がかかり、リン酸自体も植物

が吸収するには少し難しい成分です。

一方、亜リン酸は、普通のリン酸を少し小さくしたものとイメージするとわかりやすいかもしれませんが、リン酸より小さく土への固着する力も少し弱いため、植物が吸収しやすい成分といえます。

亜リン酸を施した圃場では、根の量も増えることにつながり、土に固着しているリン酸の吸収率も上がります。根の量が増えることで植物自体も元気に生育しますので、上手に亜リン酸を使用することで、ワンランク上の野菜栽培をめざしましょう。



営農のことにに関するアドバイス

営農110番

水稲・野菜・花き・果樹など、農業に関するアドバイスをいたします。

受付：平日 9:00～17:30

- 広島南営農事務所 ☎ (082) 849-6355
- 広島北営農事務所 ☎ (082) 841-4919
- 山県営農事務所 ☎ (0826) 85-0020
- 本店指導販売課 ☎ (082) 870-5893

※ 本店指導販売課では土曜日9:00～12:00まで対応

寒さ対策

厳寒期に突入しますので、寒さ対策が必須です。露地で栽培される場合、トンネルや不織布などを使って、少しでも温度を高めるようにして栽培しましょう。

ハウス栽培ではビニールを閉めて栽培しますが、急な晴れ間でハウス内、トンネル内の温度が急上昇することがありますので注意が必要です。

今月の農作業

当JAで取り扱っている肥料の中で、亜リン酸の入った商品としては、「亜リン酸粒状」、「ホストップ」(液肥)があります。

